

土浦市役所の本庁舎は、昭和38年の建設から48年が経過し、老朽化や狭あい化が進んでいます。数回の増改築や、大町庁舎(平成2年築・水道課)、高津庁舎(昭和62年築・産業部)、新治庁舎(昭和44年築・教育委員会、農業委員会)への分散化で事務室、会議室などの確保をしてきましたが、耐震化や情報技術(I T)化への対応などの課題も抱えています。

こうした課題を解決するため、市庁舎の新築に向けて市民の皆さんにアンケートを実施しました。その主なアンケート結果をお知らせします。

※調査結果など、詳しくは政策企画課ホームページ(<http://www.city.tsuchiura.lg.jp/section.php?code=2>)をご覧ください。

図 政策企画課(☎826-1111 内線2353、2205、2425)

□アンケート調査の概要

調査方法／郵送

調査対象／市内に居住する20歳以上の方から無作為に抽出

調査期間／

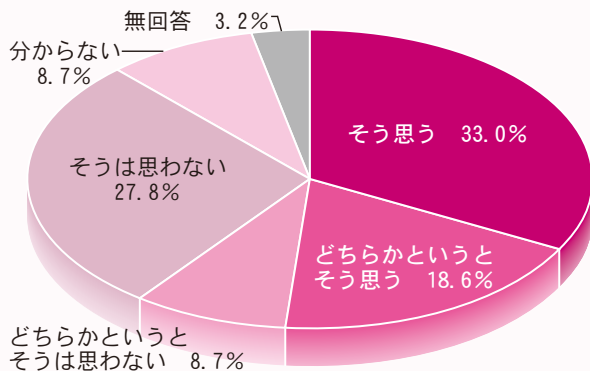
平成22年9月21日～10月20日

回収状況／実配布数…2975人

回収数…1729人

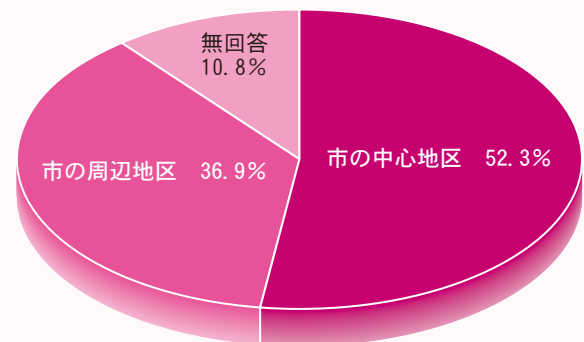
回収率…58.1%

① 庁舎の場所は現在地から移転したほうがいいと思いますか



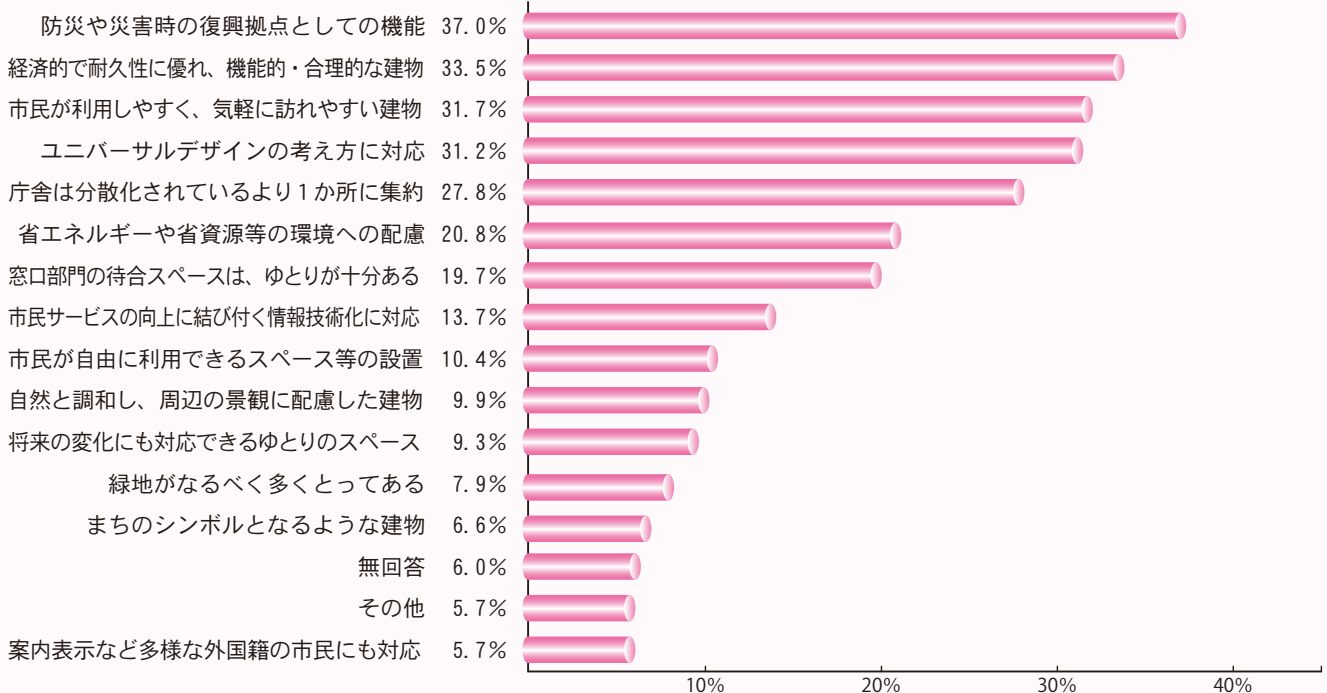
「そう思う」と「どちらかというそう思う」を合わせると51.6%となり、過半数を超えています。多くの市民の皆さんは、現在の庁舎が不便であると感じていましたが、立地もその大きな要因の一つであると考えています。

② 移転するとしたらどのあたりがいいですか



「市の中心地区」が52.3%で、過半数を超え、市の周辺部の36.9%を大きく上回りました。多くの市民の皆さんは、現在の庁舎が不便であると感じていて、市の中心地区への移転を望んでいます。

③ これからの市役所庁舎のあり方について



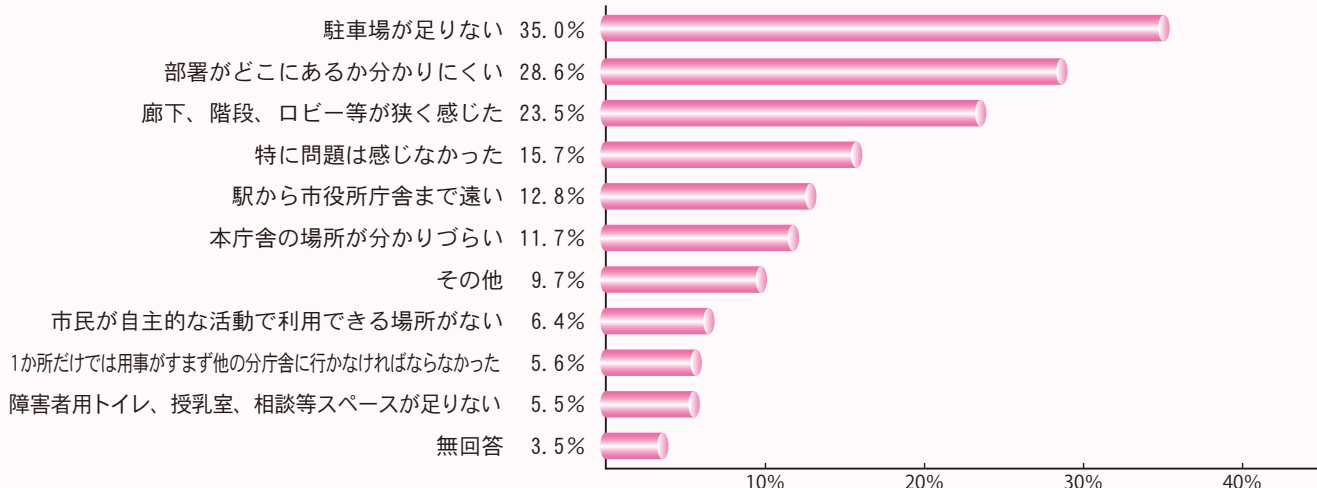
これからの庁舎のあり方について考えていることを3つ選んでもらった結果、東日本大震災前に実施したにもかかわらず、庁舎には「防災や災害時の復興拠点としての機能」を備えることがいいと考えている方が一番多い結果でした。

また、「経済的で耐久性に優れ、機能的・合理的な建物」、「市民が利用しやすく、気軽に訪れやすい建物」、「ユニバーサルデザインの考え方に対応」、「庁舎は分散化されているより1か所に集約」などがいいと考える方も多い結果でした。

「庁舎に関する市民アンケート」の調査結果をお知らせします



Q 本庁舎を訪れて、施設面、環境面でどのように感じましたか



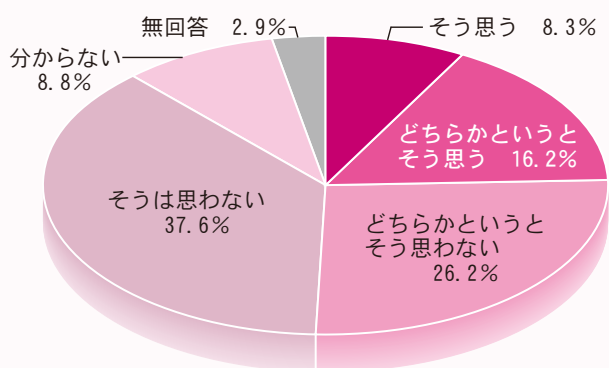
本庁舎の施設、環境面で、一番感じたことを3つ選んでもらった結果、「駐車場が足りない」、「廊下、階段、ロビー等が狭く感じた」など、施設の狭あい化に関することを強く感じている結果でした。同時に、「部署がどこにあるか分かりにくい」と感じている方も多くいて、市民の皆さんにご不便をおかけしている状況にあると考えています。

また、「障害者用トイレ、授乳室、相談等スペースが足りない」と回答した方は回答者数の5.5%でしたが、これらのスペースを利用する方はアンケート回答者の一部であ

ると考えられることから、数値以上に重要な意味があると考えています。

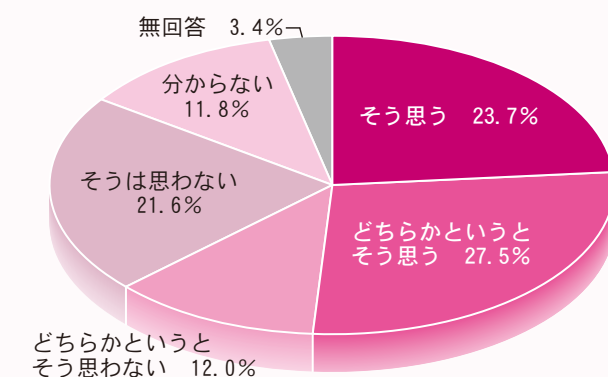
さらに、多くの方は、戸籍・住民票などの交付の用件で訪れていますが、来庁者の中には「1か所だけでは用事が済まず他の分庁舎に行かなければならなかった」方もいます。これは本庁舎の狭あいや合併に伴う施設の有効利用などで生じた要因と考えられ、市民の皆さんの利便性低下だけでなく、職員の業務効率低下を招く原因にもなっていると考えています。

Q 現在の庁舎は便利だと思いますか



「そう思わない」と「どちらかというと思わない」を合わせると63.8%となり、「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた24.5%の2倍を大きく超えています。現在の庁舎は、不便であるという印象を、多くの市民の皆さんが持っていると考えています。

Q 庁舎の建設はできるだけ早く進めたほうがよいと思いますか



「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせると過半数を超え、早期建設に肯定的でした。「そうは思わない」、「どちらかというと思わない」と考えている方は、全体の3分の1でした。